

クリのジョイント栽培始める

夜久野町の藤原孝一さん

収量増、栽培管理も省力化

品種は「ほろたん」 全国一の産地めざす

福知山市夜久野町小倉の工務店経営、藤原孝一さん(61)が、夜久野高原内の栗園の一部で今年度から、丹波くりのジョイント栽培を始めた。幹から伸びる主枝を同じ高さで隣同士接ぎ木して育て、出てきた側枝を手の届く範囲で誘引し管理する手法で、クニへの導入は全国的に珍しいという。品種は、和栗の一種で、加熱するだけで渋皮が簡単にむける画期的な「ほろたん」。消費者からの評価が高く、栽培の輪を大きく広げたいという。

夜久野高原は府内唯一の火山、宝山が30万~40万年前に噴火した際、降り積もった火山灰などで形成された。肥沃で保水力に優れている黒土に覆われ、昼夜の寒暖差が大きく、クリ栽培に適する。藤原さん方は1・2畝余りの栗園で多くの品種を育てている。いま力を注いでいるのが「ほろたん」。茨城県つくば市にある国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が2007年に開発した交配種で、切れ目を入れて加熱すると、渋皮まで「ほろん」とむけることから命名された。粒は大きめで果肉は黄色く、甘みと香りが高い。焼き栗やマロングラッセ、栗ご飯に適しているという。

評価が高い「ほろたん」変色するため、実炭その病に侵されたクリと見分けが難しいのが原因。いろいろな品種を混程の途中で、皮が黒く



クリの主枝の接ぎ木の作業を進める藤原さん(右)。中央は小林さん



ピンク色の花が咲くサトザクラ

周囲をピンクに染め

三段池公園でサトザクラ開花

福知山市猪崎の三段池公園で、八重咲きのサトザクラが開花し始めた。枝いっぱい咲くピンク色の花が、周囲を彩っている。

市植物園から市動物園へと向かう散策路沿いに8本ある。5日ごろに開花。例年より1週間ほど早いという。

現在3分咲き程度で、木の高さが2~3倍と低く、花が間近に迫る。

約600枚の棚田が広がる福知山市大江町毛原の山中に、ミツバツツジの花が咲き、棚田の里に、本格的な春の到来を告げている。

ミツバツツジは、ツツジ科の落葉低木で、4~5月ごろに赤紫色

棚田の里に本格的な春

大江町毛原でミツバツツジ開花



赤紫色の花をつけるミツバツツジ



味が絶妙と高評価を受けた東京でのイベント

さらに効率的な生産をめざそうと研究し、昨年12月、先進地の宮城県名取市にある宮城県農業・園芸総合研究所を訪れ、ジョイント

栽培のノウハウを学んだ。その後すぐに苗木約150本を約600平方メートルの栗園に植えつけた。苗木を1畝間隔で横一列に並べており、現在、幹から伸びる主枝を、同じ高さで同じ方向に曲げて接ぎ木をする作業を進めている。今後、側枝を上方に伸ばして結実させる。本格的に収穫するのは3年目の秋からになる。最終的に1千本に増やす計画だ。

ジョイント栽培のメリットは多い。枝の高さを約2倍と低く抑えることで、栽培管理の大幅な省力・簡易化が実現できる。脚立を使わず立ったままで収穫作業や剪定、病虫獣害対策ができ、枝に日光

がよくなるので味が良くなり、密集させるために収穫量も面積当たりで計算すると、立木栽培に比べて倍増するという。

水蔵庫を使うのも特徴のひとつ。果実を氷点下2度で3~4週間保存すると、ほぼ100%の殺虫率となり、糖度が高まり、流通量が少ない時期でも高値で販売できる。

昨年7月に設立された特定非営利活動法人京都丹波栗の会にも加入し、加入する生産者、パティシエ、研究者ら55人と栽培技術や販路開拓などについて情報交換を続けている。

藤原さんは「ジョイント栽培では収益が見込めるだけでなく、体への負担が少ないため

栽培のノウハウを学んだ。その後すぐに苗木約150本を約600平方メートルの栗園に植えつけた。苗木を1畝間隔で横一列に並べており、現在、幹から伸びる主枝を、同じ高さで同じ方向に曲げて接ぎ木をする作業を進めている。今後、側枝を上方に伸ばして結実させる。本格的に収穫するのは3年目の秋からになる。最終的に1千本に増やす計画だ。

ジョイント栽培のメリットは多い。枝の高さを約2倍と低く抑えることで、栽培管理の大幅な省力・簡易化が実現できる。脚立を使わず立ったままで収穫作業や剪定、病虫獣害対策ができ、枝に日光

がよくなるので味が良くなり、密集させるために収穫量も面積当たりで計算すると、立木栽培に比べて倍増するという。

水蔵庫を使うのも特徴のひとつ。果実を氷点下2度で3~4週間保存すると、ほぼ100%の殺虫率となり、糖度が高まり、流通量が少ない時期でも高値で販売できる。

栽培のノウハウを学んだ。その後すぐに苗木約150本を約600平方メートルの栗園に植えつけた。苗木を1畝間隔で横一列に並べており、現在、幹から伸びる主枝を、同じ高さで同じ方向に曲げて接ぎ木をする作業を進めている。今後、側枝を上方に伸ばして結実させる。本格的に収穫するのは3年目の秋からになる。最終的に1千本に増やす計画だ。

ジョイント栽培のメリットは多い。枝の高さを約2倍と低く抑えることで、栽培管理の大幅な省力・簡易化が実現できる。脚立を使わず立ったままで収穫作業や剪定、病虫獣害対策ができ、枝に日光

がよくなるので味が良くなり、密集させるために収穫量も面積当たりで計算すると、立木栽培に比べて倍増するという。

水蔵庫を使うのも特徴のひとつ。果実を氷点下2度で3~4週間保存すると、ほぼ100%の殺虫率となり、糖度が高まり、流通量が少ない時期でも高値で販売できる。

28日、立候補予定者説明会

6月のハピネスふくちやまで

任期満了に伴う福知山市長選挙の立候補予定者説明会が28日午後1時30分から、市役所本庁舎隣のハピネスふくちやまで開かれ、必要書類も渡す。

対象者は立候補予定者とその関係者で、17日、投票は同月14日

の花が咲く。花が終わってからは、毛原では、展望台近くの散策路沿いなどに植わっている。地元住

あすの運勢 吉田龍永【先負】

一白〇〇 距離を置いた関係を保って吉
二黒〇〇 集中力を途切れさせないよう
三碧〇〇 熱意があれば説得できる。吉
四緑〇〇 公平な目で見ないと孤立する
五黄〇〇 アドバイスをもらって大吉運
六白〇〇 率先して自己アピールしよう
七赤〇〇 後ろを向かず前を見るように
八白〇〇 思い切った行動すれば成功へ
九紫〇〇 投機的な考え方は少し抑えよ

ほくと 2020 spring!
給与振込キャンペーン
2020年2月3日(月)
5月29日(金)
新規で給与振込口座をご指定いただいた方に...
抽選で現金10,000円をプレゼント!!

詳しくは、本支店窓口または下記までお問い合わせください。
☎ 0120-4910-86
信用金庫営業日 9:00~17:00
携帯電話からはご利用できません。

地域元氣宣言の
京都北部信用金庫

発行所
(株) 両丹日日新聞社
〒620-0055
福知山市篠尾新町一丁目99
TEL0773-22-2688 FAX22-3232
郵便振替口座01050-6-42028
E-mail info@ryoutan.co.jp
https://www.ryoutan.co.jp

新聞購読のお申し込み、配達についてのお問い合わせは次の販売店へどうぞ。
博明・昭和・大正・修善・上豊富・天津・公誠・上川口・三岳・金谷・大江町・夜久野町
(有) 両丹日日新聞専売所
TEL23-8182 FAX23-9266

省部・成仁・遷喬・庵我・佐賀・上八人部・中八人部・下八人部・三和町
(有) 両丹日日新聞サービスセンター
TEL27-9804 FAX27-0074

両丹日日新聞への取材依頼は TEL22-3324まで
広告申し込みなどは TEL22-2688までご連絡下さい